

山梨県産業技術センター 富士技術支援センターでは、富士東部地域のものづくり企業の交流会であるテクノネット「ふじざくら」と共催で、次の講演会を開催いたします。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

◆日時：令和4年12月13日（火）14：00～16：45

◆講演形式：オンライン形式

◆共催：テクノネット「ふじざくら」

参加費
無料

講演Ⅰ 14：10～15：10

『自動車業界の現状と未来』

株式会社 山一ハガネ 営業企画本部 坂本 昭彦 氏

現在の自動車業界は「100年に1度の大変革時代」と言われています。「トヨタ自動車は全部やります」実際に、コネクテッド・自動運転・シェアリング・電動化の技術と概念により、業界を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。自動車業界がこのような大変革期を迎えるにあたり、他社との協力体制の構築による新技術の開発に対応していこうという取り組みも注目されており、このアライアンスの拡大により、他ソフトウェアや通信・サービス業種からの参入が増加します。『3万点以上のパーツをどれだけ削減できるのか？』『塗装をしないプラスチックに置き換える』『メガサプライヤーから部品を調達する』今までの自動車業界とは全く違う業界に生まれ変わるとも言われています。

本講演では、（株）山一ハガネ 営業企画本部 坂本昭彦氏より、様々な視点からみた自動車業界におけるこれまでの取り組み事例や業界の現状、さらには未来の自動車業界とは、についてご講演いただきます。

講演Ⅱ 15：25～16：25

『金属AM業界の現状と国内普及への課題と将来像』

一般社団法人 日本AM協会 専務理事 澤越 俊幸 氏

現在、金属3D積層造形技術（金属AM）は、欧米を中心に、航空・宇宙機器、産業機械、医療機器など幅広い分野において活用されています。特に、従来製法に比べ、より複雑な形状作製、設計自由度の高さ、製品性能の向上、デジタル技術を活用した生産性向上など多くのメリットがあることから、2030年には約2兆円の世界市場規模に拡大すると見込まれています。

国内においては、金属AMの活用状況は、海外に比べると大幅に遅れているのが実状である反面、これからのものづくり業界における高付加価値製品の創出を実現するためには、欠かすことのできない主な製造方法の一つとして大いに期待されています。

本講演では、日本AM協会 専務理事 澤越俊幸氏より、金属AMの活用事例を交えながら、金属AM業界の現状と国内普及における課題と活用普及に向けた将来像についてご講演いただきます。

情報提供 16：25～16：40

『山梨県産業技術センターの業務紹介』

申込方法

◆下記必要事項をメール本文にご記入の上、12月8日(木)までにお申し込みください。

① 御社名 ② 部署・御名前 ③ メールアドレス ④ 電話番号

◆申込先E-mail : yitc-fit02@pref.yamanashi.lg.jp

◆問い合わせ先 : 山梨県産業技術センター 富士技術支援センター
機械電子技術部 萩原・勝又（電話 0555-22-0944）

※ オンライン会議ソフトは、Zoom（Webブラウザでも可）です。

※ 事前に聴講に必要なURLを送付します。